

# 第 43 回東海川崎病研究会のご案内

日 時 2024 年 5 月 11 日 (土) 14 時 00 分 ~ 18 時 00 分

場 所 名古屋国際センター 別棟ホール

名古屋市中村区那古野 1-47-1 TEL (052) 581-5678(総務)



## ■名古屋駅から東へ徒歩 7 分

地下街「ユニモール」を直進していただくと、地下鉄桜通線「国際センター駅」および名古屋国際センタービルの地下とつながっています。

## ■地下鉄桜通線「国際センター」駅下車すぐ

名古屋国際センタービルの地下とつながっています。

## ◆一般演題ご発表の先生方へ

- 一般演題 講演時間 7 分 討議時間 3 分
- 発表形式  
使用ソフト：Power Point(Windows・Mac を USB 等で提出)
- 講演は一画面のみでの発表となります。

◆参加費 1,000 円

本研究会は日本小児循環器学会認定地方会の研修集会(8 単位)です。

当番世話人

中東遠総合医療センター 小児科 岩島 寛

(連絡先：日本血液製剤機構 下條 大輔 [gejou-daisuke@jbpo.or.jp](mailto:gejou-daisuke@jbpo.or.jp))

# プログラム

- 14:00-14:05 **1.開会の辞** 中東遠総合医療センター 小児科 岩島 寛
- 14:05-14:35 **2.一般演題 I** 座長 静岡市立静岡病院 小児科 酒井 秀政  
I -① 『熱源精査中に MIS-C を疑われた 19 歳ダウン症例』  
藤田医科大学 小児科 内田 英利  
I -② 『川崎病急性期における冠動脈エコー輝度亢進の定量化』  
中東遠総合医療センター 小児循環器科 岩島 寛  
I -③ 『ワーファリンを中止した川崎病巨大冠動脈成人例』  
中東遠総合医療センター 小児循環器科 岩島 寛
- 14:35-15:05 **3.一般演題 II** 座長 浜松医科大学附属病院 小児科 安岡 竜平  
II -① 『急性期治療中に持続性心室頻拍発作を起こした川崎病の 1 例』  
中津川市民病院 小児科 成瀬 和久  
II -② 『静注用グロブリン製剤不足に応じた当院の治療転換について』  
岡崎市民病院 小児科 上田 桃子  
II -③ 『黄疸を契機に発症し、血漿交換療法を 5 回施行した IVIG 不応川崎病の 1 例』  
一宮市立市民病院 小児科 豊島 雅大
- 《 休 憩 20 分 》
- 15:25-16:00 **4.プレナリーセッション** 司会 藤田医科大学 小児科 齋藤 和由  
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 小児科 福見 大地  
総合討論テーマ：『リスク層別化に基づいた治療戦略』
- 16:00-16:20 **5.情報提供** 『情報提供と事務局連絡』  
名古屋大学大学院医学系研究科 成長発達医学 加藤 太一
- 16:20-16:30 **6.東海川崎病研究会優秀論文賞発表および表彰**  
代表世話人 加藤 太一
- 《 休 憩 15 分 》
- 16:45-17:45 **7. 特別講演** 座長 中東遠総合医療センター 小児科 岩島 寛  
『川崎病難治例の予測診断法確立に向けて』  
福岡大学医学部 小児科 講師 吉兼 由佳子 先生
- 17:45-17:50 **8. 閉会の辞** 名古屋大学大学院医学系研究科 成長発達医学 加藤 太一